

# CB21AG/PI21AG のローミング動作の最適化

## 内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[手順](#)

[関連情報](#)

## はじめに

このドキュメントでは、アクセス ポイント間でローミングする際の遅延を最小限にするようにワイヤレス クライアントを設定する方法について説明します。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- ファームウェア 4.4 以降が稼働する Cisco 802.11 a/b/g クライアント アダプタ
- Cisco Aironet Desktop Utility ( ADU ) バージョン 4.4 以降

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな ( デフォルト ) 設定で作業を開始しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

### 表記法

表記法の詳細については、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

## 手順

CB21AG/PI21AG ( 802.11a/b/g ワイヤレス クライアント アダプタ ) を使用する場合、アクセス

ポイント間でのローミングで発生する遅延を最小限に抑えるには、次の手順を実行します。

注：これらの手順は、ドライバ層でのローミング遅延を最適化し、すべての認証タイプに適用できません。802.1x 認証を使用する場合、さらに最適化できる可能性があります。これについてはこのドキュメントでは説明しません。

注：ローミングを高速化するために最適化を行うと、バッテリー使用率が増加し、スループットが低下する可能性があります。

1. ADU クライアント ソフトウェア バージョン 4.4 以降を使用してください。
2. [BSS Aging Interval] を 30 に設定し、[Scan Valid Interval] を 20 に設定します。

Windows コントロール パネルでこの 2 つのパラメータを設定するには、次の手順を実行します。

- a. Windows エクスプローラに移動します。
- b. [My Network Places] を右クリックします。
- c. ドロップダウンリストで [Properties] を選択します。
- d. [Wireless Network Connection#] を右クリックします。# は、Cisco CB21AG ワイヤレス LAN アダプタのインスタンス番号です。
- e. ドロップダウンリストで [Properties] を選択します。[Wireless Network Connection Properties] ダイアログボックスが表示されます。
- f. [Configure] をクリックします。
- g. [Advanced] タブをクリックします。
- h. [BSS Aging Interval] を 30 に設定し、[Scan Valid Interval] を 20 に設定します。

これらのパラメータ値は絶対最小許容値であり、これよりも低い値を設定してはなりません。デフォルト値は、[BSS Aging Interval] は 120、[Scan Valid Interval] は 60 です。

3. アクセス ポイント カバレッジで許容されている場合は、5 GHz ( 802.11a ) または 2.4 Ghz ( 802.11b/g ) 帯域のいずれかのみを使用するようにのみを使用するように ADU でクライアント プロファイルを設定します ( 両方は使用できません )。クライアント プロファイルを設定するには、次の手順を実行します。
  - a. ADU クライアント ソフトウェアを起動します。
  - b. [Profile Management] タブをクリックして、目的のプロファイルを強調表示し、[Modify] をクリックします。
  - c. [Advanced] タブをクリックします。
  - d. [Wireless Mode] で、使用しないレートをオフにします。

e. CB21AG の管理に ADU を使用しない場合は、レジストリ設定を使用してレートを選択する必要があります。次のステップを実行します。

- a. [Start] > [Run] を選択し、regedit と入力して Registry Editor を起動します。
- b. [HKEY\_LOCAL\_MACHINE] > [System] > [CurrentControlSet] > [Control] > [Class] > [{4D36E972-E325-11CE-BFC1-08002bE10318}] に移動します。
- c. [4D36E972-E325-11CE-BFC1-08002bE10318] フォルダを右クリックし、[Find] を選択します。
- d. NetBand 変数を見つけるため、検索フィールドに NetBand と入力します。これは [instance] 4 桁のサブキーの下にあります。このサブキーの [DriverDesc] 値は Cisco Aironet 802.11a/b/g Wireless Adapter です。

NetBand REG\_SZ 変数は、サポートされるレートのビットマスクです。デフォルトは 15 です。値は次のとおりです。

802.11a	0x01
(not used)	0x02
802.11b	0x04
802.11g	0x08
(not used)	0x10

たとえば、レート 11b および 11g だけをサポートする場合は、 $0x04 + 0x08 = 0x0C = 12$  (10 進数) となります。

## 関連情報

- [Cisco Aironet 802.11a/b/g ワイヤレス LAN クライアント アダプタ \(CB21AG および PI21AG\) インストール インストラクション コンフィギュレーション ガイド、リリース 3.0](#)
- [Cisco Aironet ワイヤレス LAN クライアント アダプタ](#)
- [ワイヤレス テクノロジーに関するサポート ページ](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。